



第11号様式(第16条関係)

補助事業等実績報告書

令和7年2月28日

(宛先)

戸田市長

補助事業者

住所又は所在地

氏名又は団体名 特定非営利活動法人 戸田市ITボランティアの会

及び代表者氏名 会長 清水 久雄

戸田市補助金等交付規則の規定により、次のとおり報告します。

交付決定年月日	令和6年6月21日	交付番号	14
補助年度	令和6年度	補助金等の名称	戸田市共創のまちづくり補助金
補助事業等の名称	スマホでつながる地域コミュニティ！		
補助事業等の施行場所	戸田市内 町会会館		
着手年月日	令和6年4月1日	完了年月日	令和7年2月28日
補助金等の交付決定通知額	171,550円		
補助金等の既交付額	171,550円		
補助事業等の補助対象事業費	94,272円		
補助事業等の経過及び内容	町会運営に役立つスマートフォンアプリ・LINEの操作、LINEの戸田市公式アカウントの登録とその使い方を12カ所の町会会館等で実施。89名の参加者がありました。		
添付書類 1 戸田市共創のまちづくり補助金事業報告書 2 領収書 3 アンケート 4 5			

令和7年2月28日

戸田市共創のまちづくり補助金事業報告書（行政提案、市民提案事業補助）

（宛先）

戸田市長

団体名 特定非営利活動法人 戸田市ITボランティアの会

代表者職・氏名 会長 清水 久雄

所在地

補助種別	☒ 行政提案事業補助（テーマ名：町会会館などの無線LAN環境を活用した地域活性化事業） ☐ 市民提案事業補助	
事業名	スマホでつながる地域コミュニティ！	
新規・継続	☐ 新規	☒ 継続（ 2 年目）
実施期間	令和 6 年 4 月 1 日 ～令和7年 2 月 28 日	
関係部署名	※報告書の内容について、事前に関係部署に確認してください。 市民生活部 協働推進課	

1 事業の具体的な内容及び成果

補助金決定後、協働先の協働推進課で各町会・自治会に意向調査を実施し、開催時期・内容の計画変更を行いました。(令和6年7月19日)

町会・自治会活動のデジタル化を推進する中で、LINEを活用した町会員へのスムーズな情報伝達を希望する町会・自治会もあったため、LINEの操作と戸田市公式アカウントの登録と使い方をメインに実施しました。

<補助金の使用用途>

講座のポスターおよび資料作成。参加者へのお茶代、講座会場への機材運搬、並びにプロジェクター借用等に使用しました。

<事業の具体的な内容>

開催希望のあった町会・自治会の会館で、スマートフォンを会館のWi-Fiに接続し、スマホの講座を実施しました。

「スマートフォンを楽しく使ってコミュニティにつなごう。」

WiFi接続の方法を学んで、LINEによる、友だち登録から写真、通話までを気軽に楽しみましょう。戸田市公式アカウントを登録し、行政とつながってみましょう。

<開催実績>

10月11日(金) 10-12時	さくらパル	参加者: 10名
11月10日(日) 13-15時	氷川町会館	参加者: 3名
11月12日(火) 15-17時	美女木4丁目会館	参加者: 4名
11月16日(土) 17-19時	美女木7丁目会館	参加者: 2名
11月22日(金) 10-12時	中町公民館	参加者: 18名
12月17日(火) 12-14時	川岸会館	参加者: 1名
12月21日(土) 13-15時	笹目7丁目(夏浜会館)	参加者: 17名
1月17日(金) 10半-12時半	笹目南会館	参加者: 3名
2月6日(木) 13-15時	南原会館	参加者: 11名
2月7日(金) 13-15時	馬場町会館	参加者: 8名
2月15日(土) 13-15時	東町会館	参加者: 0名(※)
2月22日(土) 13-15時	新曽下町会館	参加者: 12名

合計参加者 89名

なお、各回のアンケート結果は別紙のとおり

※(準備、実施はしましたが、当日の参加者は0名でした。)

<事業の周知>

町会会館を会場とし、町会員だけでなく、町会会館の近隣に住む方にも参加していただくために、ポスターを町会掲示板に掲示し、チラシは町会で回覧しました。また、当会のホームページに掲載しました。

<成果>

講座に参加した方は全体的に高齢の方が多く、スマートフォンの操作に慣れていない方が多く見受けられました。会館のWi-Fiへの接続方法、LINEの友達登録の機能を学習しました。参加者同士で友達となりスタンプを送りあうなど実践しました。その他にも戸田市LINE公式アカウントを登録し、その使い方（ゴミ出し、各種申請手続き）を講師から学びました。

受講者各自が持っている疑問や質問については、セミナーの合間にサポーター（各会場で3～4名）が、個別対応しました。

講師およびサポーターは参加者と年齢が近いこともあり、参加者からは質問しやすかったとの声もありました。

今回実施した町会では、デジタル化を普及させる過程で、会員の誰も取り残さないことが求められおり、その前提として誰もがスマホを使いこなすことが求められています。スマホのLINEやアプリを使いこなすことで、本事業が少しでもその目標に近づける手助けになれたと考えます。

2 事業実施のスケジュール

月 日	内 容
	※各会場の開催1か月前～前日に会場の下見・町会長との調整を行いました。
10月11日（金）	さくらパル 参加者：10名
11月10日（日）	氷川町会館 参加者：3名
11月12日（火）	美女木4丁目会館 参加者：4名
11月16日（土）	美女木7丁目会館 参加者：2名
11月22日（金）	中町公民館 参加者：18名
12月17日（火）	川岸会館 参加者：1名
12月21日（土）	笹目7丁目（夏浜会館） 参加者：17名
1月17日（金）	笹目南会館 参加者：3名
2月6日（木）	南原会館 参加者：11名
2月7日（金）	馬場町会館 参加者：8名
2月15日（土）	東町会館 参加者：0名
2月22日（土）	新曽下町会館 参加者：12名
参加者合計	89名

3 事業の実施体制

当団体のメンバーで実施しました。(講師：1名、サポーター：3～4名)
プロジェクター・スクリーンは、当会所有の機器を使用し、会場まで協力者の方に運搬を依頼しました。運搬後はサポーターとして、講座中のフォローをお願いしました。

4 反省点と課題

町会員がLINEによる連絡網を構築する方法を取得するには、もう少し時間が必要になると感じています。また、今回受講した方が受講後に周りの町会員に教えるなど、町会の中でデジタル化の輪がどのように広がったのか調査したいと思います。その上で来年度は、ステップアップした講座をどのような内容にするか考えていきたいです。

参加者を増やすために、講習会の周知方法を検討する必要があります。

5 今後の事業の展望

今回の講座をとおして、受講いただいた町会には今回の内容を町会の中で広めていただき、デジタル化によって少しでも負担を減らして町会活動を行っていただきたいです。

また、町会のニーズに合った講座や、個別相談にのる講座などを実施していきたいです。

6 役割分担

申請団体の担った役割	講師、サポーターの提供/資料の作成/ポスターの作成/印刷/
市の担った役割	町会との調整/集客/宣伝
協働することで得られた相乗効果等	町会デジタル設備の有効活用/市と町会との連携/町会行事運営の簡素化

《収支報告書》

【収入】

(円)

科 目		予 算 額 ①	収 入 額 ②	比 較 (②-①)	内 訳
補助金・ 助成金	当補助金	171,550	167,472	△4,078	
	その他				
自己資金		106,000	0	△106,000	
会費（参加費等）					
利用者負担金（売上等）					
協賛金・寄附					
その他					
合 計		277,550	167,472	△110,078	

【支出】

(円)

	科 目	予算額 ①	支出額 ②	不用額 (①-②)	内 訳
補助 対象 経費	委託費	33,000	0	33,000	
	消耗品費	15,000	2,241	12,759	コピー用紙
	印刷製本費	78,550	46,700	31,850	講座資料、チラシ・ ポスター
	食糧費	15,000	2,761	12,239	参加者へのお茶、お菓子代
	通信運搬費	20,000	36,570	△16,570	機材の運搬等 3000 円×8 回＋ タクシー代×6 回
	保険料	10,000	6,000	4,000	レクリエーション保険 500 円×12 回
	小 計	171,550	94,272	77,278	※支出額内訳 補助金充当額：96,513 自主財源：0
補助 対象 外 経費	謝礼金	96,000	73,200	22,800	講師、サポーターの謝礼金
	食糧費	10,000	0	10,000	サポーターのお茶代
	小 計	106,000	73,200	32,800	
合 計		277,550	167,472	110,078	